

## 平成 31 年度公立高等学校入学者選抜学力検査における改善について

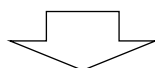
県教育委員会で策定した「公立高等学校及び県立中学校の入学者選抜における採点ミスに係る再発防止・改善策（平成 30 年 7 月）」に基づき、出題方針、記述式（まとまった文章等の記述）の問題数、解答用紙について下記のとおり変更します。

### 1 学力検査問題の改善について

#### (1) 出題方針について

＜平成 30 年度 出題方針＞

- (1) 中学校学習指導要領に示されている各教科の目標に即し、内容の基本的な事項について出題する。
- (2) 解答が偶然性に支配されたり、単なる記憶の検査に偏ったりしないように、理解力、思考力、判断力、表現力などを検査できるように配慮する。そのため、記述式による出題をできるだけ多くする。
- (3) 出題領域は、特定なものに偏ったりしないように、できるだけ広範囲から出題する。



平成 31 年度山形県公立高等学校入学者選抜学力検査問題は、「平成 31 年度山形県公立高等学校入学者選抜実施要項」に示す次の出題方針に基づいて作成する。

＜平成 31 年度 出題方針＞

- (1) 中学校学習指導要領に示されている各教科の目標に即し、内容の基本的な事項について出題する。
- (2) 解答が偶然性に支配されたり、単なる記憶の検査に偏ったりしないように、理解力、思考力、判断力、表現力などを検査できるように配慮し、客観式及び記述式を組み合わせ出題する。
- (3) 出題領域は、特定なものに偏ったりしないように、できるだけ広範囲から出題する。

(2) 「記述式（まとまった文章等の記述）」の問題について【別紙1 参照】

従前と比較して、「記述式（まとまった文章等の記述）」の問題数の割合を段階的に削減する。具体的には、今後2年間、各年度において、各教科の小問1～2問程度を以下のとおり変更する。

- ① (ア)「記述式（まとまった文章等の記述）」の問題の一部を(イ)「記述式（用語・数値・漢字等）」又は(ウ)「客観式（記号式）」へ変更する。【別紙1 (1)(2)】
- ② (イ)「記述式（用語・数値・漢字等）」の問題の一部を(ウ)「客観式（記号式）」へ変更する。【別紙1 (3)】

(3) 選択問題について

これまで出題してきた、各教科の選択問題（受検者が複数の問題から選択して解答する問題）は、なしとする。

2 解答用紙の改善について【別紙2 参照】

- (1) 用紙の大きさはA3判とする。ただし、国語については縦向き2つ折（縦書き）、その他の教科は縦向き2つ折（横書き）とする。
- (2) 採点の○△×の記載欄を小問ごとに2か所、得点及び配点の記載欄を小問ごとに1か所設け、大問ごとの合計得点の記載欄を設ける。記載欄は、国語については解答欄の上部、その他の教科は解答欄の外側（左右）とする。
- (3) 受検番号、総得点欄は、解答欄の上部とする。